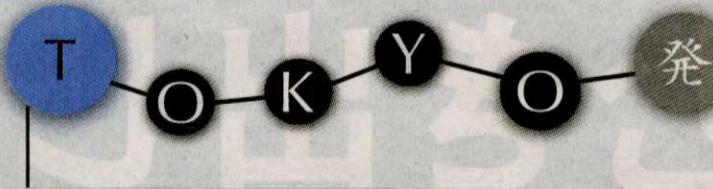


# 東京新聞

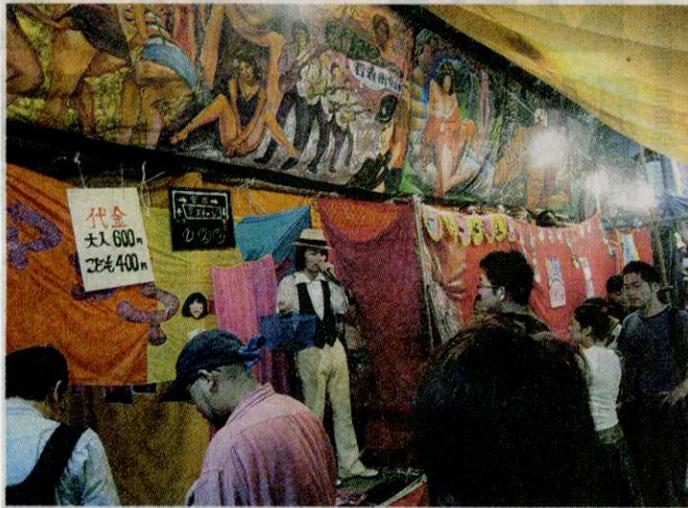
中日新聞東京本社  
東京都千代田区内幸町二丁目1番4号  
〒100-8505 電話 03(6910)2211



fax 03-3595-6920

email t-hatsu@tokyo-np.co.jp

T 発



靖国神社と見せ物小屋  
…聖と俗の共存共栄

## 聖と俗



知られざる水運の力…ごみ運搬船から見えるもの

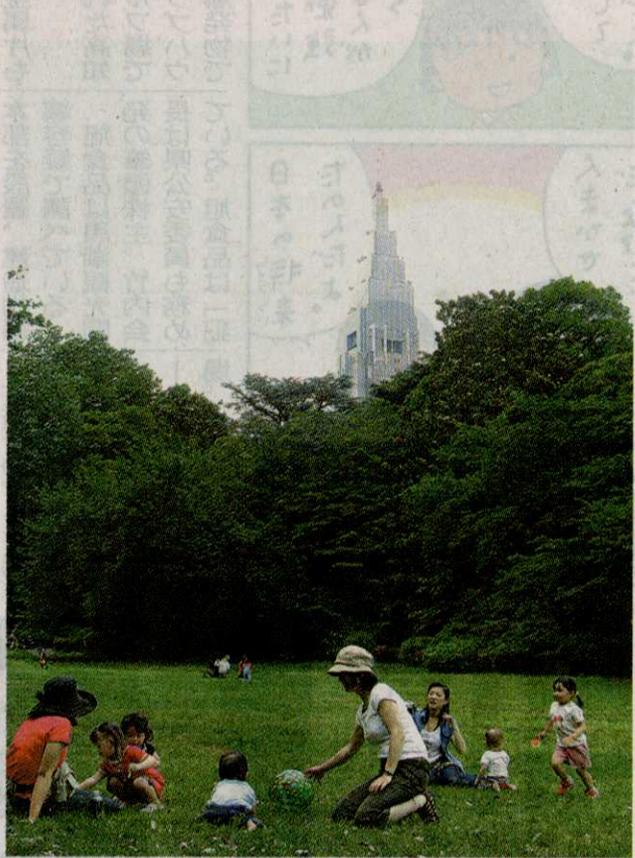
## 水の都

「なんか変」。気になった風景をカメラで切り取る。そこから社会の仕組みが見えてくる。日本大学の後藤範章教授が学生たちに指南する社会学の学び方だ。名付けて「東京人観察学会」。学生たちが撮影した写真からは、さまざまな東京の顔が見えてくる。

## 日大・後藤ゼミ「写真で学ぶ社会学」15年

# 東京の変顔

理論書だけでは社会学は、JR水道橋駅近くは、学べないと、後藤の神田川で、不燃ごみ教授がゼミの学生に写を積み込む船だ。写真撮影をさせる試みをた。中村仁一さん(三三)始めたのは一九九四は「二三区」の約三割年。テーマは「東京ら不燃ごみを水上で運搬する」と知って驚いし「さ」だ。東京都世田谷区の日た。水の都・江戸にも本大学文理学部百周年思いをはせた。記念館には、三百点余新宿御苑で幼児を遊ばせる母親たち。一見一点が二十七日まで展のどかだが学生がインタビューすると「近く「あの汚い船は何の公園は狭くて危険で？」。伊藤しおりさん目を離せない」「電車(三三)が被写体を選んで外出すると気持ちがのは、通学途中の車窓晴れる」。都会の母親から見た風景。正体の孤独が見えてきた。



## 母の孤独

新宿御苑の効能…200円で得られるストレス発散とリフレッシュ



生きたまま蛇を食べる女、半裸の歌謡曲シヨ…。これは靖国神社のみたままつりに出店していた見せ物小屋の看板。撮影した学生は「一時廃止したら客足が減った、との記述が文献にあった。聖なる神社も、卑俗な見せ物の集客力に依存しているのかも」。後藤教授がこの企画を始めて、十五年目。「ネタ切れを心配したけど、それどころじゃなかった。東京っておもしろいですよね」

文・出田阿生／写真・沢田将人／紙面構成・岡博大